

「公共施設等総合計画（改定）素案」

へのパブリックコメント

期間：令和6年2月1日～29日

意見提出者数：9名（49件）

区民の皆さまからいただいたご意見と区の回答一覧

	(意見数)	(掲載ページ)
1 品川区公共施設等総合計画について	1件	P1
2 公共施設等の現況および将来の見通し	5件	P1
3 公共施設等の総合的かつ計画的な基本方針	3件	P1
4 計画のマネジメント	1件	P2
5 施設類型ごとの方向性（個別施設計画）	17件	P2
6 PPP/PFI手法の活用	2件	P3
7 その他	20件	P4
	意見原文	P7

※ご意見は「公共施設等総合計画（改定）素案」の章立てをもとに、区分しています。

※回答中に記載の「(P〇〇)」は、「公共施設等総合計画（改定）素案」における掲載頁を示しています。

品川区企画経営部

1 品川区公共施設等総合計画について

※意見番号はP7以降に記載している意見原文の番号です。

No	項目	意見趣旨	意見番号	回答
1	1 品川区公共施設等総合計画について	p3の表中の「福祉保健施設」には現状でシルバーセンターと特別養護老人ホームのふたつが載っている。もし施設数の多い順に書くルールであるならば在宅介護支援センターとシルバーセンターになるはずだが、そうならないということは掲載には自由度があるはず。ふたつとも高齢者関係にせず、どちらかは障害福祉施設にしていきたい。	06	ご意見を踏まえ、シルバーセンターを削除し、障害者福祉施設である障害者グループホームを記載します。

2 公共施設等の現況および将来の見通し

2	2 公共施設等の現況および将来の見通し	p17のグラフ中に出てくるLCCとは何を指すのか。	06	p17のグラフに記載のLCC(ライフサイクルコスト)については、事後保存型(損傷が大きくなって修繕および架換えを行うこと)で維持管理した場合と予防保全型(損傷が軽微なうちに修繕を行うこと)で維持管理した場合の橋梁の整備から解体にかかるまでの費用を算出し、その効果を示したものです。
3	2 公共施設等の現況および将来の見通し	p17の本文によると、「利用禁止あるいは緊急な補修もしくは更新が必要」とされた公園が1カ所あったことになる。その公園の補修もしくは更新はすでになされているのか。	06	公園施設長寿命化計画では、区内公園のベンチや遊具などの各公園施設について健全度判定を行っており、「健全度D」となった施設は9基です。対象の施設については、遊具の改修、補修、および使用禁止処置により安全が図られている状況です。
4	2 公共施設等の現況および将来の見通し	p18のグラフだが、縦軸の目盛りが30万人からになっている。基点は0にすべしというのが統計庁の方針のはず。省略棒を入れるなどして、基点は0にしていきたい。	06	ご意見を踏まえ、基点を0として記載します。
5	2 公共施設等の現況および将来の見通し	グラフの横軸(項目軸)が和暦のものと西暦のもの併記のものが混在している。それぞれ原本から引用したものをそのまま使っているためだと思うが、どちらかに統一できないのか。	06	ご意見を踏まえ、西暦で統一します。
6	2 公共施設等の現況および将来の見通し	p24には「今度30年間で年当たり平均で146.9億円」とあり、p25には「今後30年間で年当たり平均152.7億円」とある。数字に差があるが、この差は何を示しているのか。	06	ご意見を踏まえ、年あたり平均額を統一します。

3 公共施設等の総合的かつ計画的な基本方針

7	3 公共施設等の総合的かつ計画的な基本方針	p26に「定期借地権の手法による民間貸付」とある。障害者グループホームなどでこの手法が取り入れられているが「〇年後に更地にして返却」では終の棲家となり得ず、入居者本人や家族は安心できない。障害福祉施設にはこの手法は合っていないと思われるので、障害福祉施設には適用しないいただきたい。	06	ご意見として承ります。引き続き、障害のある方が地域で安全・安心に暮らしていくことができるよう障害者の住まいの確保に取り組んでまいります。
8	3 公共施設等の総合的かつ計画的な基本方針	素案28ページの「(7)脱炭素化の推進方針 太陽光パネルの設置」について、太陽光パネルのメンテナンスや現状の原料の危険性も発表されているため、国内の企業が生産するパネルを積極的に使用してもらいたい。国の発展にも繋がり、品川区としてもよい行いになると思う。	02	区有施設に設置する太陽光パネルについてですが、設置後の保守点検や安全性などを考慮して、国内メーカー(JIS規格品)を採用しております。

9	3 公共施設等の総合的かつ計画的な基本方針	p.28に、「ZEB(ネットゼロエネルギービル)化」とあるが、ZEBというのは省エネ+創エネで0%以下まで削減する真の『ZEB』を指しているのか。品川区には、真のZEB(等級でいうと6、7)を導入していただきたい。例えば、学校の教室で実現すれば、エアコンは各教室家庭用エアコン1台で済むといわれている。そうすることで、使用電力が減るだけでなく、エアコン買い替え費用も大幅に節約できる。	04	ZEBについてですが、認証制度等を取りまとめた国において、4段階に定義されています。区では、用途・規模に応じて、可能な限り高いレベルのZEB認証取得に努めてまいります。
---	-----------------------	--	----	--

4 計画のマネジメント

10	4 計画のマネジメント	p30に「組織面では、全庁的な取組みが必要となるため、横断的な推進組織の設置や外部の専門家などの意見を取り入れる仕組みについて検討します」「全職員を対象とした研修や担当職員の技術研修等の実施、適正管理に必要な体制について検討します」とある。計画期間が10年なのに「検討します」なのか。10年間かけて検討するのか。10年もあるなら実施まで持って行っていただきたい。	07	ご意見として承ります。
----	-------------	---	----	-------------

5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)

11	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	心身障害者福祉会館の改築が2034年～というのは、どういう理由なのか、明確に回答してください。	05	本計画においては、建築年数より30年で大規模改修等を実施、60年で建替え等を実施することを基本として記載しておりますが、個別の施設の状況に応じて判断します。
12	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p35の「ものづくり創造センター」とは何を行っている施設なのか。	07	「ものづくり」にかかわる企業・NPO法人等が、技術開発・産学連携・人材育成等の活動を効果的に行える活動拠点として整備した施設でございましたが、コロナ禍以降、利用する事業者がおらず、現在は区の執務室等として暫定的に活用を行っております。
13	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p53に区立保育園3カ所の廃園の方針が書かれている。跡地にはぜひ区内で不足している障害者施設を建てていただきたい。	07	p53の記載は幼稚園3園の記載でございますが、こちらについてはご意見として承ります。
14	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p60の区営住宅とp62の区民住宅の違いがよくわからない。説明を追記していただきたい。	09	区民住宅は中堅所得ファミリー層の定住化を図ること、区営住宅は、住宅に困窮する低所得者に住宅を供給することで区民生活の安定と福祉の増進に寄与することを目的としています。本計画は施設の管理計画であることから、詳細な説明は記載しませんが、品川区のホームページ等により確認することができますので、ご覧ください。
15	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p64の障害者住宅についてはバリアフリー化について書かれていない。すでにバリアフリー化されているということか。	09	障害者住宅については、すでにバリアフリー化済みです。
16	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p65の従前居住者用住宅は、説明を追記していただきたい。	09	区の密集住宅市街地整備促進事業・不燃化特区支援事業・都市防災不燃化促進事業などの整備事業等に伴い、老朽住宅等の除却または建替えにより、住宅に困窮すると認められる方へ従前居住者用住宅として公営賃貸住宅を次の居住先(仮住まいを含む)として、ご用意しています。本計画は施設の管理計画であることから、詳細な説明は記載しませんが、品川区のホームページより確認することができますので、ご覧ください。
17	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p67のシルバーセンターについて。八潮地区は区内の他エリアに比べて高齢化率が2倍近く高い。地域内にシルバーセンターを設置していただきたい。	09	ご意見として承ります。現在、八潮地区にシルバーセンターを整備する予定はございませんが、八潮内には全ての年代の方にご利用いただける活動の場として、八潮地域センターやこみゅにていふらざ八潮がございます。また、八潮地域センター内にある「敬老室」では、高齢者の方が団体登録の上、無料でご利用いただくことができます。

18	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p70の在宅介護支援センターでは「今後も可能な限り公共施設内に配置し、業務を継続していきます」との記載がある。他項目では同様の記載が見当たらないため、違和感がある。あえて本項目でのみそう明記した背景や理由があるはずなので、そこまで記載していただきたい。	09	在宅介護支援センターは、平成3年から将来の高齢者のさらなる増加見込みを背景に、区の相談窓口の充実強化を図るため、身近なところでのワンストップの相談窓口として地域ごとの高齢者数や高齢化率を勘案しつつ20か所を整備してきたところです。所在のわかりやすさ・来所しやすさを考慮し公共施設内に設置することを基本としてきたことから、表記の記載とさせていただきます。
19	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p72の心身障害者福祉会館は現状ではまだ築50年に満たないが、外観・内観ともにそうとうみすぼらしくなっているので、2034～2043年を待たずに改修していただきたい。	10	本計画においては、建築年数より30年で大規模改修等を実施、60年で建替え等を実施することを基本として記載しておりますが、個別の施設の状況に応じて判断します。
20	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p76の介護職員用住宅とは、どういった区立施設に務めるこういった職種の方が使っておられるのか。それとも家族の介護により遠距離になっている職員のための住宅なのか？	10	区では、年々高まる介護ニーズに対して様々な施策を実施しておりますが、品川区のみならず全国的に介護職員の確保が困難となっております。区では持続可能なサービス提供を確保するため、特に外国人職員を受け入れる場合に住居確保が難しいことから、区内社会福祉法人が運営する入居・入所施設において外国人介護職員を確保するための支援策として区営住宅の一部を提供しております。
21	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p90に荏原や西小山の清掃事務所分室の移転統合についての記載がある。荏原地区は他エリアに比べて障害者施設が不足しているので、跡地には障害者施設をつくっていただきたい。	10	ご意見として承ります。
22	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p93に「2026(令和8)年度に施設整備改修計画を再検討する予定です」とあるが、何の施設整備改修計画なのか。「自転車等駐車場・自動車駐車場」の施設整備改修計画か？	10	「自転車等駐車場」の施設整備改修計画となります。
23	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p95の倉庫は地図がない。地図では示せないのか。地図で示せないなら現状の合計箇所数だけでも示していただきたい。	10	現在、災害用の倉庫・物置については、20箇所ございます。そのほかに、災害用備蓄品については、区有施設のスペースを活用し、管理をしております。ご意見を踏まえ、災害用の倉庫の箇所数を記載いたします。
24	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p96の道路については、バリアフリーについて記載していただきたい。車いすの方や視覚障害の方などから、さまざまな要望の声やお困りの声が上がっているはず。	10	「品川区道路の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例」の規定に基づき整備してまいります。
25	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p96の道路については、点字ブロックの整備・改修についても記載していただきたい。	10	品川区道路の移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例の規定に基づき整備してまいります。
26	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p97の橋梁について。区で管理している橋梁がおよそいくつあるのか示していただきたい。	13	p16に記載のとおり、橋梁は66橋ございます。
27	5 施設類型ごとの方向性(個別施設計画)	p98の公園について。品川区立公園条例では「公園の住民1人当たりの敷地面積の標準は、5平方メートル以上とする」と定められているとのこと。この数字は現状で達成できているのか。	13	ご意見のとおり、品川区公園条例では住民1人当たりの公園面積は5㎡となっております。しかし、令和5年4月1日時点においては住民1人当たりの面積は3.38㎡となっております。公園の用地確保もなかなか難しい状況でございますが、条例で定める面積を目指して、機会を捉えてしっかりと確保に務めてまいります。

6 PPP/PFI手法の活用

28	6 PPP/PFI手法の活用	p99からは「PPP/PFI 手法導入優先的検討規程」の章となっているが、その前とのつながりが不明。ここからは資料ページなのか。取って付けた感があるので、説明が必要ではないか。	13	ご意見を踏まえ、説明を記載します。
----	----------------	--	----	-------------------

29	6 PPP/PFI手法の活用	p100の表内の「ESCO」は説明がないが、これでいいのかわ。	13	ご意見を踏まえ、ESCOの説明を記載します。 なお、ESCOは(Energy Service Company)の略称で、省エネルギーに関する包括的なサービス提供を行うものです。
----	----------------	---------------------------------	----	---

7 その他

30	7 その他	大井町サービスコーナーをJR品川駅又は京急品川駅付近に設置して欲しい。	01	ご意見として承ります。
31	7 その他	区の端に居住しているためか、スポーツ施設や図書館、文化センターなどの施設が近くにない。スポーツ施設など利用したいが遠くてなかなか利用できない。目黒駅近辺は住民や職場もたくさんあるので需要はあると思う。ぜひ公共施設を充実させてほしい。	03	ご意見として承ります。
32	7 その他	品川区は、耐震診断をしたというが、非構造部材や基礎部分はしていない。これまでの大地震の被害状況でも、それらの点検が求められているが、実施していない。既存不適格だから問題ないという意識の建築職がいるが、しっかり研修をし、人材の質を高めるべき。	05	ご意見として承ります。区では、建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)に基づき「耐震改修促進計画」を策定するとともに、区有施設の耐震診断を適切に実施しております。また、非構造部材の点検につきましては、建築基準法に基づく定期点検にて安全性を確認してまいります。
33	7 その他	未利用の施設や公有地を本計画に記載し、利用方法についての分析を付け加えてください。大井第三地域センターやリボンの跡地は何に使用するのか、明確にしてほしい。	05	ご意見として承ります。なお、大井第三地域センターについては、計画に記載のとおり教育支援センター(マイスクール)として活用する予定です。
34	7 その他	障害者施設は老朽化し、不足しています。既存不適格の危険な施設を安全にしてください。福祉避難所になっているところは、特に、60年待たずに対応してください。	05	本計画においては、建築年数より30年で大規模改修等を実施、60年で建替え等を実施することを基本として記載しておりますが、個別の施設の状況に応じて判断いたします。
35	7 その他	障害児者総合支援施設に、エコルとごしのよう学習したり本を読んだり、おしゃべりしたり、ちょっとした飲食も可能な場所を作っていただきたいです。	08	ご意見として承ります。なお、飲食についてはカフェラウンジ「みんなのテーブル」にて軽食等の提供がございますので、ご利用ください。
36	7 その他	障害児者総合支援施設のスペースにソファや椅子、机があって自由に使えたら良いと思います。	08	ご意見として承ります。
37	7 その他	東大井にもフリースペースを是非作っていただきたいです。	08	現在、区では、さまざまな生きづらさを持つ子どもや若者が、安心して自分らしく過ごせる居場所として、西品川で子ども若者応援フリースペースを運営しております。また、南品川児童センターを新たな子ども・若者活動拠点とするための整備を進めていく予定です。こうした場所の今後の拡充につきましては、利用者ニーズや地域バランス等を考慮しながら、検討してまいります。東大井へのフリースペース設置についてもご意見として承ります。

38	7 その他	<p>今後、建設技術に新たな技術が導入されていくことが予想され、大規模改修や、施設更新の時期に合わせ、時代に即した技術導入が求められると考える。</p> <p>その点で、既存のインフラに対する維持管理延長上の計画だけでは、将来の成長性を阻害する障害になるおそれがあり、将来の公共施設が、時代に遅れた陳腐化したものになるのではないかと危惧を覚える。</p> <p>公共施設が時代遅れの産物とならないように、技術革新についていくための、産学と連携した技術のリサーチ、区民との情報の共有を図る仕掛けを計画に入れ、施設更新、改修の際に、有望な技術を取り入れていく仕組みを検討してはどうか。</p>	11	<p>区では、既存施設の老朽化や機能更新などによる大規模改修の際に、省エネルギー機器の導入などに加えて、ZEB認証の取得なども進めるなど、時代に即した改築・改修等に努めてまいります。</p>
39	7 その他	<p>災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備を導入していただきたい。</p> <p>①都市ガスとプロパンガスの併用</p>	12	<p>ご意見として承ります。なお、区では2事業者と災害時におけるプロパンガスの供給に関する協定を結んでいます。</p>
40	7 その他	<p>災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備を導入していただきたい。</p> <p>②断水、停電でも使用できる水洗トイレの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源: 下水処理水、井戸水、河川水を直接あるいは簡易浄水で。 ・電源: 太陽光発電 + 蓄電池 + 外部給電。 	12	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、避難所施設では、排水管の耐震化を1施設につき1系統以上実施しているため、断水・停電時でもバケツなどで汲んだ水をトイレに流して利用することは可能です。なお、学校避難所施設を改築する際は、受水槽だけでなく、井戸の設置も検討・実施し、水源の確保にも努めています。</p>
41	7 その他	<p>災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備を導入していただきたい。</p> <p>③1階のトイレは受水タンク式にして、断水時に外部から給水し利用できる設備に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政設備だけでなく、病院、老人ホーム、大規模店舗、企業等へも推奨を。 	12	<p>タンク式トイレでなくとも、停電・断水の際の応急措置として、バケツなどで汲んだ水をトイレに流すことは可能です。水源には受水槽の水や井戸水などが想定されています。なお、タンク式トイレは使用水量が多く、貯水時間がかかり連続使用ができないため、区有施設では新設しておりません。</p>
42	7 その他	<p>災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備を導入していただきたい。</p> <p>④災害トイレの増備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内や屋根下に災害トイレを設けてください。個室利用できる方式として、仕切りが設置できるような床や壁にしてください。テント式はダメ。 ・男性小使用や、住民が飲料パックなどで尿を捨てに来る場所も設けてください。 ・既存の災害トイレに併設している倉庫内にも設置してください。 ・立会川流域などの雨水貯留槽はマンホールトイレと兼用に。 ・行政関連の設備にこだわらず、頑丈な下水道設備に近い大規模集合住宅、ビルに積極的に設置を。 ・地域や人口分布の平等にこだわらず、設置できるところには多数設置。 	12	<p>ご意見として承ります。</p>

43	7 その他	災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備を導入していただきたい。 ⑤懐中電灯等の乾電池は平時からニッケル水素電池などの二次電池を使用	12	ご意見として承ります。 二次電池は通常のアルカリ乾電池と比較し、高価であることや半年ごとに維持管理(充電)が必要であることから、備蓄しておりません。 今後の備蓄については、今後の動向に注視し検討していきます。
44	7 その他	公衆衛生、費用低減 ①フィルター式空気清浄機を設置してください。 ・水道管直結式の太陽熱温水器の無償設置。 公衆浴場、病院、老人ホームなどへ。 給湯用燃料費が高騰するたびに補助金を出すことなく、飲料水相当の水の備蓄にもなる。	12	ご意見として承ります。
45	7 その他	公衆衛生、費用低減 ②道路、歩道はアスファルト舗装で十分です。レンガ敷は不要です。	12	ご意見として承ります。
46	7 その他	奥付に「2023(令和15)年度」とあるが、「2033(令和15)年度」の誤りではないか。	13	ご指摘のとおり2033(令和15)年度に修正します。
47	7 その他	これまでの公共施設、公共インフラに比べて、より先進性を求めるみらい志向を持った計画も、今後10年を臨む総合計画には必要だと思う。 みらいを志向した事業を計画、推進していく責任は、公共にこそあり、公共施設の総合計画として、技術革新を取り込む余地を掲げる必要があるのではないかと	14	ご意見として承ります。
48	7 その他	能登震災など、自然災害が近年増えていることに関連し、これら自然災害に対する強靱化も、公共施設や公共インフラには求められてくる。 総合計画には、これら自然災害に備えた対策施設も含まれてくるべきだと思う。	15	ご意見として承ります。区では「品川区耐震改修促進計画」を策定しており、区有施設の耐震化を推進してまいりました。また、施設の維持管理については、点検診断等を随時実施し、修繕等が必要な場合は対策を講じております。引き続き、老朽化や耐震化の状況を注視しつつ、施設の安全性の確保に努めてまいります。
49	7 その他	昨今の技術革新、子育て政策による生活変革をリードすべき行政として、成長した街の姿をビジョンとして掲げる計画としてほしい。 具体的には、デジタル技術をインフラと位置付けて、予算化していくための検討とか、教育・福祉に限られているように見える施設方針を、クリーンエネルギーなどを活かす仕組みを検討するなど、先進的な取り組みを示すべきだと思う。	16	ご意見として承ります。

意見番号	意見原文
01	大井町サービスコーナーをJR品川駅又は京急品川駅付近に設置して欲しい。
02	いつもお世話になっております。令和6年の素案28ページの「(7)脱炭素化の推進方針 太陽光パネルの設置」の文ですが、これらパネルのメンテナンスや現状の原料の危険性も発表されているので、ぜひ国内の企業が生産するパネルを積極的に使用してもらいたいです。国の発展にも繋がりますし品川区としてもよい行いになると思います。
03	私の住んでいる地区は区の端です。 その為か、スポーツ施設や図書館、文化センターなどの施設が近くにありません。 スポーツ施設など利用したいのですが遠くてなかなか利用できません。 同じ区民なのに近くにある人が羨ましいです。 目黒駅周辺は住民や職場もたくさんあるので需要はあると思います。 ぜひ公共施設を充実させて下さい。
04	私は子ども達の将来を考えると気候変動が深刻であると危惧する品川区在勤者の者です。p.28に、「ZEB(ネットゼロエネルギービル)化」とありますが、ZEBというのは省エネ+創エネで0%以下まで削減する真の『ZEB』を指しているのでしょうか。日本においては、ZEBといっても、Nearly ZEB, ZEB Ready, ZEB Oriented とややこしいくらい独自のグレードができてしまい、その結果、日本の建築物の高性能化/脱炭素化が遅れてしまうことを危惧しています。是非、若い世代に積極的に投資する品川区には、真のZEB(等級でいうと6、7)を導入していただけるよう提案させていただきます。例えば、これが学校の教室で実現すれば、エアコンは各教室家庭用エアコン1台で済むといわれています。そうすることで、使用電力が減るだけでなく、エアコン買い替え費用も大幅に節約できます。
05	この計画にかけている視点は、バリアフリー化と防火機能と、昇降機や非構造部材の耐震性能です。定期点検をしているのであれば、それらのデータをデータベース化し、単なる長寿命化の視点だけで、耐用年数60年とするのは、事故のもとです。品川区は、耐震診断をしたというが、非構造部材や基礎部分はしていない。これまでの大地震の被害状況でも、それらの点検が求められているが、実施していない。既存不適格だから問題ないという意識の建築職がいるようだけど、しっかり研修をし、人材の質を高めるべき。既存不適格は安全ではない認識がないのは、建築士の資格がないと言える。また、福祉系施設で、バリアフリー化ができていないのに、一向に是正もしない(できない)施設を福祉避難所として使用し、利用者の利便性のため、居ながら工事ができないからと20年以上放ったらかしなのは、杜撰としか言えない。仮移転場所がないというが、現在、利用していない公共施設や公有地場所の一覧を示してください。一覧があるのに、移転場所を見つけてほしいなどという障害者所管課は、区民を馬鹿にしている。大井第三地域センターやリボンの跡地は何に使用するのか、明確にしてほしい。第一地域センターも移転している。未利用の施設や公有地を本計画に記載し、利用方法についての分析を付け加えてください。これが抜けているのは、本末転倒です。しっかり公表してください。そもそも、障害者施設は老朽化し、不足しています。既存不適格の危険な施設を安全にしてください。福祉避難所になっているところは、特に、60年待たずに対応してください。災害はいつ起きるかわかりません。だから、事前に対応しておくのです。森澤区長が、建築や防災に疎いのであれば、説明します。心身障害者福祉会館の改築が2034年～というの、どういう理由なのか、明確に回答してください。自民党の高橋区議が自分が一般質問したから、整備が進んだと言っていたのと矛盾はしていませんか。合理的な計画を策定するために、住民と一緒に計画策定を行ってください。住民の中に、優秀な人材はいると思います。たくさんの知恵を絞って、効果的な計画を策定しましょう。

06	<ul style="list-style-type: none"> ・p3の表中の「福祉保健施設」には現状でシルバーセンターと特別養護老人ホームのふたつが載っている。もし施設数の多い順に書くルールであるなら在宅介護支援センターとシルバーセンターになるはずだが、そうならないということは掲載には自由度があるはず。ふたつとも高齢者関係にせず、どちらかは障害福祉施設にしていきたい。 ・p17のグラフ中に出てくるLCCとは何を指すのか。 ・p17の本文によると、「利用禁止あるいは緊急な補修もしくは更新が必要」とされた公園が1カ所あったことになる。その公園の補修もしくは更新はすでになされているのか。 ・p18のグラフだが、縦軸の目盛りが30万人からになっている。基点は0にすべしというのが統計庁の方針のはず。省略棒を入れるなどして、基点は0にしていきたい。 ・グラフの横軸(項目軸)が和暦のものと西暦のものと併記のものが混在している。それぞれ原本から引用したものをそのまま使っているためだと思うが、どちらかに統一できないのか。 ・p24には「今度30年間で年当たり平均で146.9億円」とあり、p25には「今後30年間で年当たり平均152.7億円」とある。数字に差があるが、この差は何を示しているのか。 ・p26に「定期借地権の手法による民間貸付」とある。障害者グループホームなどでこの手法が取り入れられているが「〇年後に更地にして返却」では終の棲家となり得ず、入居者本人や家族は安心できない。障害福祉施設にはこの手法は合っていないと思われるので、障害福祉施設には適用しないでいただきたい。
07	<ul style="list-style-type: none"> ・p30に「組織面では、全庁的な取組みが必要となるため、横断的な推進組織の設置や外部の専門家などの意見を取り入れる仕組みについて検討します」「全職員を対象とした研修や担当職員の技術研修等の実施、適正管理に必要な体制について検討します」とある。計画期間が10年なのに「検討します」なのか。10年間かけて検討するのか。10年もあるなら実施まで持って行っていただきたい。 ・p35の「ものづくり創造センター」とは何を行っている施設なのか。 ・p53に区立保育園3カ所の廃園の方針が書かれている。跡地にはぜひ区内で不足している障害者施設を建てていただきたい。
08	<p>障害児者総合支援施設に、エコルとごしのように学習したり本を読んだり、おしゃべりしたり、ちょっとした飲食も可能な場所を作っていただきたいです。子供が不登校気味で、家でも勉強したりしていますが、家だけだと親子共に煮詰まります。気分転換の為に、カフェや図書館に行ったりもしていますが、カフェは長居しづらいし、毎回お金もかかります。図書館は静か過ぎて勉強しかできない雰囲気なのでハードルが高くなり足が向きにくいです。エコルとごしは非常に有り難い施設ですが、東大井1丁目の我が家からは遠いです。障害児者総合支援施設のスペースにソファや椅子、机があって自由に使えたら良いなと思います。子ども・若者応援施設のような位置付けでも良いかもしれません。不登校や引きこもり問題で悩んでいる親子の交流の場にもなるかもしれません。施設の改修とまではいかないのが低予算で実現可能ではないかと思います。東大井にもフリースペースを是非作っていただきたいです。</p>

09	<ul style="list-style-type: none"> ・p60の区民住宅とp62の区営住宅の違いがよくわからない。説明を追記していただきたい。 ・p64の障害者住宅についてはバリアフリー化について書かれていない。すでにバリアフリー化されているということか。 ・p65の従前居住者用住宅は、説明を追記していただきたい。 ・p67のシルバーセンターについて。八潮地区は区内の他エリアに比べて高齢化率が2倍近く高い。地域内にシルバーセンターを設置していただきたい。 ・p70の在宅介護支援センターでは「今後も可能な限り公共施設内に配置し、業務を継続していきます」との記載がある。他項目では同様の記載が見当たらないため、違和感がある。あえて本項目でのみそう明記した背景や理由があるはずなので、そこまで記載していただきたい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・p72の心身障害者福祉会館は現状ではまだ築50年に満たないが、外観・内観ともにさうとうみすぼらしくなっているので、2034～2043年を待たずに改修していただきたい。 ・p76の介護職員用住宅とは、どういった区立施設に務めるどういった職種の方が使っておられるのか。それとも家族の介護により遠距離になっている職員のための住宅なのか？ ・p90に荏原や西小山の清掃事務所分室の移転統合についての記載がある。荏原地区は他エリアに比べて障害者施設が不足しているので、跡地には障害者施設をつくっていただきたい。 ・p93に「2026(令和8)年度に施設整備改修計画を再検討する予定です」とあるが、何の施設整備改修計画なのか。「自転車等駐車場・自動車駐車場」の施設整備改修計画か？ ・p95の倉庫は地図がない。地図では示せないのか。地図で示せないなら現状の合計箇所数だけでも示していただきたい。 ・p96の道路については、バリアフリーについて記載していただきたい。車いすの方や視覚障害の方などから、さまざまな要望の声やお困りの声が上がっているはず。 ・p96の道路については、点字ブロックの整備・改修についても記載していただきたい。

11	<p>3公共施設などの総合的かつ計画的な基本方針、2全体方針での、既存のインフラ施設の施設寿命と、国土交通省のLCCの考え方も踏まえ、成熟した都市インフラの持続可能な発展を見据えた、優れた計画となっていると思う。</p> <p>それぞれの施設のライフステージに合わせて、大規模改修と施設更新を計画的に行っていくことが良く分かる。そのなかで、気になるところは、昨今の生成AIなど新技術が世界を驚かせている中、建設技術にも、新たな技術が導入されていくことが予想され、大規模改修や、施設更新の時期に合わせ、時代に即した技術導入が求められると考える。</p> <p>その点で、既存のインフラに対する維持管理延長上の計画だけでは、将来の成長性を阻害する障害になるおそれがあり、将来の公共施設が、時代に遅れた陳腐化したものになるのではないかと危惧を感じる。</p> <p>公共施設が時代遅れの産物とならないように、技術革新についていくための、産学と連携した技術の研究、区民との情報の共有を図る仕掛けを計画に入れ、施設更新、改修の際に、有望な技術を取り入れていく仕組みを検討してはどうだろうか。</p> <p>例えば、議会開催期間中に、議会開催中には、区の事業担当者や、区民が傍聴で通る通路に、コマーシャルボードを展示し、技術広告を募集して、広告掲出料を徴収しながら、技術情報を提供してもらおうとか。</p> <p>新しい技術に対して常にアンテナを広げておくことも重要かと思います。</p>
----	--

12	<p>災害、停電、断水時にできるだけ平時の生活ができるような設備導入をお願いします。 避難所になりうる設備(区役所)には病院ベットが利用できる大きさのエレベータの設置 都市ガスとプロパンガスの併用 断水、停電でも使用できる水洗トイレの設置 水源:下水処理水、井戸水、河川水を直接あるいは簡易浄水で。 電源:太陽光発電+蓄電池+外部給電。 1階のトイレは受水タンク式にして、断水時に外部から給水し利用できる設備に 行政設備だけでなく、病院、老人ホーム、大規模店舗、企業等へも推奨を。 災害トイレの増備 屋内や屋根下に災害トイレを設けてください。 個室利用できる方式として、仕切りが設置できるような床や壁にしてください。テント式はダメ。 男性小使用や、住民が飲料パックなどで尿を捨てに来る場所も設けてください。 既存の災害トイレに併設している倉庫内にも設置してください。 立会川流域などの雨水貯留槽はマンホールトイレと兼用に。 行政関連の設備にこだわらず、頑丈な下水道設備に近い大規模集合住宅、ビルに積極的に設置を。 地域や人口分布の平等にこだわらず、設置できるところには多数設置。 懐中電灯等の乾電池は平時からニッケル水素電池などの二次電池を使用</p> <p>公衆衛生、費用低減 フィルター式空気清浄機を設置してください 水道管直結式の太陽熱温水器の無償設置 公衆浴場、病院、老人ホームなどへ 給湯用燃料費が高騰するたびに補助金を出すことなく、 飲料水相当の水の備蓄にもなる。 道路、歩道はアスファルト舗装で十分です。レンガ敷は不要です。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ・p97の橋梁について。区で管理している橋梁がおよそいくつあるのか示していただきたい。 ・p98の公園について。品川区立公園条例では「公園の住民1人当たりの敷地面積の標準は、5平方メートル以上とする」と定められているとのこと。この数字は現状で達成できているのか。 ・p99からは「PPP/PFI 手法導入優先的検討規程」の章となっているが、その前とのつながりが不明。ここからは資料ページなのか。取って付けた感があるので、説明が必要ではないか。 ・p100の表内の「ESCO」は説明がないが、これでいいのか。 ・奥付に「2023(令和15)年度」とあるが、「2033(令和15)年度」の誤りではないか。

14	<p>今後10年の街づくりの土台になる「公共施設等総合計画」を検討されるのなら、クリーンなエネルギーの自給や資源のリユースを目指す施設、より幅の広い世代を含めた質の高い教育環境の整備、産業と技術革新の基盤となり、地域の経済成長を促すような施設など、これまでの公共施設、公共インフラに比べて、より先進性を求めるみらい志向を持った計画も、今後10年を臨む総合計画には必要だと思う。</p> <p>成熟した都市インフラ上には、ぎじゅ革新を前提とした潜在的なエネルギー源が眠っている。これらを具体化するには、小さな資本運用しかできないスタートアップ企業による事業化を期待しても、具体的な成果をけん引する市場力はない。一方、資本力のある大きな企業であっても、中長期的な競争力のない事業への投資期待は困難である。</p> <p>みらいを志向した事業を計画、推進していく責任は、公共にこそあり、公共施設の総合計画として、技術革新を取り込む余地を掲げる必要があるのではないだろうか。</p>
15	<p>地方公営企業法施行規則別表第二号によると、事務所など鉄骨鉄筋コンクリート造等の有形固定資産については、耐用年数を50年と定めている。(法定耐用年数)</p> <p>一方で、コンクリート構造物のコンクリート中性化の進行度合いによって、残存耐用年数を評価する方法もある。</p> <p>品川区の公共施設と公共インフラの現状として、築40年以上で今後10年以内に大規模改修、更新の計画を必要とする固定資産が47%155施設ある。</p> <p>全国の自治体では、小学校ですら耐震化が進められていない公共施設を抱えているところもある中で、品川区は、かなり計画的に財政上健全に公共施設などの維持管理ができているものと思える。</p> <p>一方で、能登震災など、自然災害が近年増えていることに関連し、これら自然災害に対する強靱化も、公共施設や公共インフラには求められてくる。総合計画には、これら自然災害に備えた対策施設も含まれてくるべきだと思う。</p>
16	<p>総合計画の人口による見通しによると、令和25年度ころまでは緩やかに増加する傾向を示している。</p> <p>令和25年度頃以降では、人口減少が見込まれているが、人口の減少は、自治体歳入の主な収入源が、住民税など税収に頼っている現状では、歳入減が予定されてしまう。</p> <p>自治体として、住民サービスや公共事業を推進していくにあたって、人口減少に直面しても、そのニーズは変わらないことを考えると、歳入減にあたる前に、人口が減らない工夫をする必要もあり、また、人口が減少する局面では、公共施設・公共インフラへの歳出を縮小を迫られるかもしれない。</p> <p>自治体としては、そのような事態に直面する前に、公共事業の収益性を確保し、収支の健全化を維持しつつ、出生数の増加を促すような政策を展開、それを担保する公共施設・公共インフラを考えていかなければならないと考える。</p> <p>その点で、本「総合計画」は、既存の施設インフラにかかる費用算出についてはよくできているが、将来、自治体がどのようにあろうとしているかの成長性を感じさせるものではなく、10年後の街の姿が、現状と全く変化がなく、人々の高齢化している姿しか見えてこない。</p> <p>昨今の技術革新、子育て政策による生活変革をリードすべき行政として、成長した街の姿をビジョンとして掲げる計画としてほしい。</p> <p>具体的には、デジタル技術をインフラと位置付けて、予算化していくための検討とか、教育・福祉に限られているように見える施設方針を、クリーンエネルギーなどを活かす仕組みを検討するなど、先進的な取り組みを示すべきだと思う。</p>